

平成 26 年 5 月 28 日

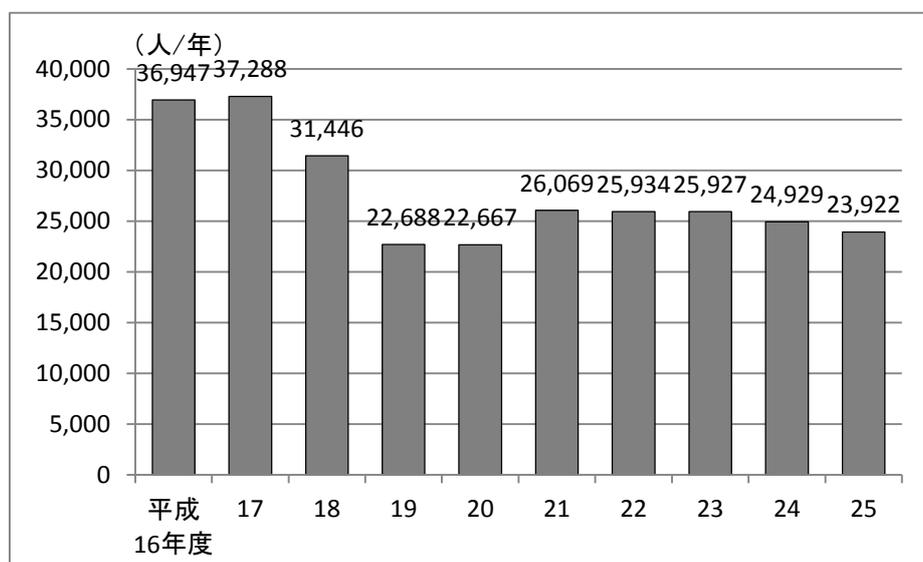
平成 25 年度・スマイルバスの利用実績

1. スマイルバスの利用状況

(1) スマイルバス利用者数の推移

- ・図-1 には、スマイルバスの前身である福祉バスが運行開始された平成 16 年度以降について、福祉バス・スマイルバスの利用者数の推移を示している。
- ・平成 21 年 6 月に福祉バスとスクールバスを一体的に運行することによりスマイルバスに路線再編したが、再編以降、平成 21 年度～23 年度にかけてスマイルバスの利用者は 26,000 人前後で推移してきた。
- ・平成 24 年度と 25 年度は、前年度に比べて約 1,000 人ずつ利用者数が減少し、平成 24 年度は 24,929 人、平成 25 年度は 23,922 人となった。

図-1 福祉バス・コミュニティバス・スマイルバスの年間乗車人数の推移

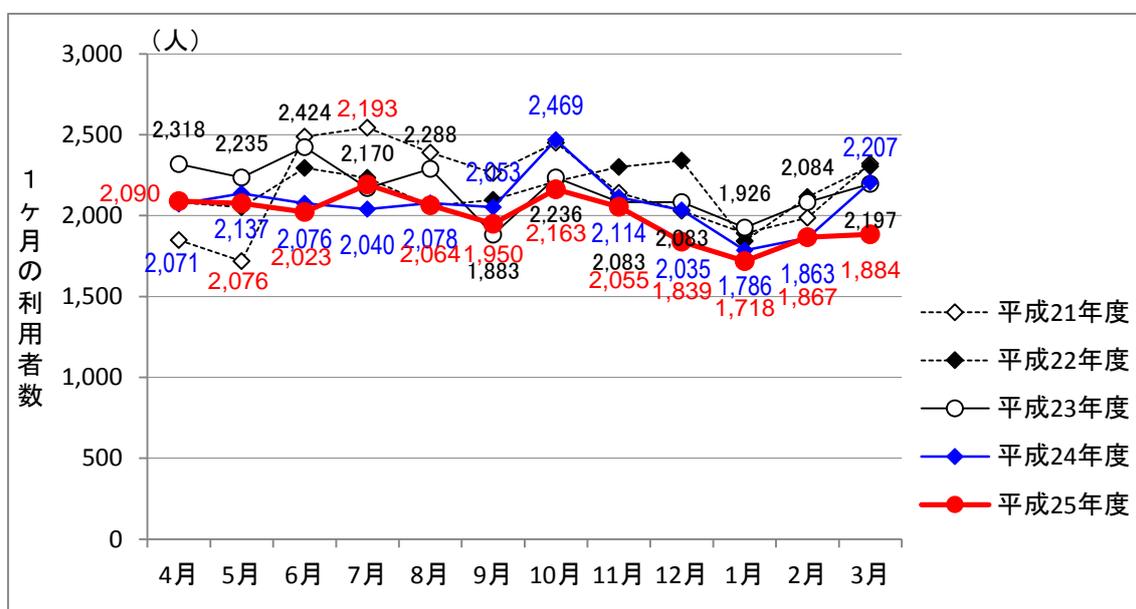


(2) 月別利用者数の推移

- ・平成 25 年度の月間利用者数の推移（図-2 の赤色の折れ線グラフ）をみると、4～9月の利用者数は1ヶ月当たり1,950～2,200人程度で、ほぼ前年度並みの水準で推移した。
- ・平成 25 年 10 月以降は、前年度を下回る月が多く、特に平成 25 年 10 月と平成 26 年 3 月には前年同月を 300 人以上（※）下回ることとなった。

※平成 25 年度の年間利用者数は、平成 24 年度より 1,007 人少なかったが、10 月と 3 月の 2 か月間の減少分は合わせて 629 人であり、この 2 か月間だけで年間の減少分の 6 割以上を占める。

図-2 スマイルバスの月間乗車人数の推移（平成 21～25 年度）



(3) 路線別の利用状況

- ・平成25年度のスマイルバスの利用状況をコース別・月別に示したものが表-1である。
- ・1日当たりの利用者数は、概ね80～95人程度で推移している。
- ・路線別の利用者は、国栖方面へのBコースが1ヶ月当たり550～820人、1日平均30人弱で最も多く、中竜門方面へのAコースが1ヶ月当たり500～700人、1日平均28人余りでその次に多い。
- ・それ以外の路線については、1ヶ月当たり110～300人程度、1日平均5～10人程度の利用である。
- ・Cコース（デマンド型乗合タクシー）では、平成25年10月より、檜尾～間ノ原～国栖東間を新たに運行したため（路線の延伸）、10月以降若干の利用増が見られる。

表-1 スマイルバスの月別・路線別乗車人数と1日平均乗車人数（平成25年度）

（単位：人）

		平成25年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
月間乗車人数	Aコース	695	705	649	701	592	665	690	648	597	561	612	495	7,610
	Bコース	823	658	666	770	704	633	753	653	556	566	594	699	8,075
	Cコース	154	104	104	107	115	108	120	145	134	108	113	165	1,477
	Dコース	35	273	268	272	299	232	271	303	225	193	222	231	2,824
	上市龍門	247	210	216	197	188	187	215	196	203	176	214	172	2,421
	中竜門	136	126	120	146	166	125	114	110	124	114	112	122	1,515
	合計	2,090	2,076	2,023	2,193	2,064	1,950	2,163	2,055	1,839	1,718	1,867	1,884	23,922
運行日数		23	22	23	24	25	21	24	23	21	21	21	23	271
1日平均乗車人数	Aコース	30.2	32.0	28.2	29.2	23.7	31.7	28.8	28.2	28.4	26.7	29.1	21.5	28.1
	Bコース	35.8	29.9	29.0	32.1	28.2	30.1	31.4	28.4	26.5	27.0	28.3	30.4	29.8
	Cコース	6.7	4.7	4.5	4.5	4.6	5.1	5.0	6.3	6.4	5.1	5.4	7.2	5.5
	Dコース	1.5	12.4	11.7	11.3	12.0	11.0	11.3	13.2	10.7	9.2	10.6	10.0	10.4
	上市龍門	10.7	9.5	9.4	8.2	7.5	8.9	9.0	8.5	9.7	8.4	10.2	7.5	8.9
	中竜門	5.9	5.7	5.2	6.1	6.6	6.0	4.8	4.8	5.9	5.4	5.3	5.3	5.6
	合計	90.9	94.4	88.0	91.4	82.6	92.9	90.1	89.3	87.6	81.8	88.9	81.9	88.3

注：各コースの往路・復路の乗車人数の合計。小学生・中学生の通学利用を除く。

Dコース・吉野山観桜期は、一部の便を除いて運休（そのため4月の利用が少ない）。

Aコース：吉野病院～立野口～吉北小～香束～三茶屋

Bコース：吉野病院～立野口～宮滝～南国栖～下色生～三茶屋

Cコース：吉野病院～奥六田～上左曾～吉野病院～藤田～喜佐谷～檜尾～間ノ原～国栖東

Dコース：吉野病院～吉野山～上千本口

上市龍門：[上市巡回線] 吉野病院～上市駅～（中道経由）～中道立野口

[龍門巡回線] 中道立野口～吉北小～西谷半次河原～下千股～上市駅～吉野病院

中竜門：[中竜門巡回線] 吉北小～別所～三茶屋～殿川

(4) 曜日別の利用状況

- ・表-2には、平成25年度の利用者数を平日と土曜日に区分して路線別に示している。
- ・平日の利用者は、1日平均約95人であり、土曜日の利用は1日平均約30人であった。
- ・平成24年度(表-3)と比較すると、平日の利用が1日平均約3人減少し、土曜日の利用が1日平均約6人減少した。土曜日の減少幅が大きいのは、吉野病院の土曜日閉院に伴い、路線を一部縮小したこと(上市駅～吉野病院間の運行取りやめ)が主な要因と考えられる。
- ・路線別では、利用の多いAコースやBコースにおいて年間の利用者数が減少しているのに対し、CコースやDコース、上市・龍門巡回線ではほぼ前年並みの利用を維持している。

表-2 平日・土曜日別の利用者数と1日平均利用者数(平成25年度)

(単位:人)

		平日		土曜		平日・土曜計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
月間乗車人数	Aコース	7,473	9,102	137	169	7,610	9,271
	Bコース	7,744	7,346	331	330	8,075	7,676
	Cコース	1,456	1,456	21	21	1,477	1,477
	Dコース	2,608	2,604	216	218	2,824	2,822
	上市龍門	2,382	2,382	39	39	2,421	2,421
	中竜門	1,436	307	79	43	1,515	350
	合計	23,099	23,197	823	820	23,922	24,017
運行日数		244	244	27	27	271	271
1日平均乗車人数	Aコース	30.6	37.3	5.1	6.3	28.1	34.2
	Bコース	31.7	30.1	12.3	12.2	29.8	28.3
	Cコース	6.0	6.0	0.8	0.8	5.5	5.5
	Dコース	10.7	10.7	8.0	8.1	10.4	10.4
	上市龍門	9.8	9.8	1.4	1.4	8.9	8.9
	中竜門	5.9	1.3	2.9	1.6	5.6	1.3
	合計	94.7	95.1	30.5	30.4	88.3	88.6

表-3 参考・前年度(平成24年度)の状況

(単位:人)

		平日		土曜		平日・土曜計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
月間乗車人数	Aコース	7,626	8,982	233	291	7,859	9,273
	Bコース	8,186	7,965	368	367	8,554	8,332
	Cコース	1,496	1,488	26	26	1,522	1,514
	Dコース	2,708	2,702	129	128	2,837	2,830
	上市龍門	2,306	2,306	63	63	2,369	2,369
	中竜門	1,682	605	106	47	1,788	652
	合計	24,004	24,048	925	922	24,929	24,970
運行日数		245	245	25	25	270	270
1日平均乗車人数	Aコース	31.1	36.7	9.3	11.6	29.1	34.3
	Bコース	33.4	32.5	14.7	14.7	31.7	30.9
	Cコース	6.1	6.1	1.0	1.0	5.6	5.6
	Dコース	11.1	11.0	5.2	5.1	10.5	10.5
	上市龍門	9.4	9.4	2.5	2.5	8.8	8.8
	中竜門	6.9	2.5	4.2	1.9	6.6	2.4
	合計	98.0	98.2	37.0	36.9	92.3	92.5

2. スマイルバスの利用を取り巻く環境について

(1) 吉野町の人口とスマイルバスの利用者数

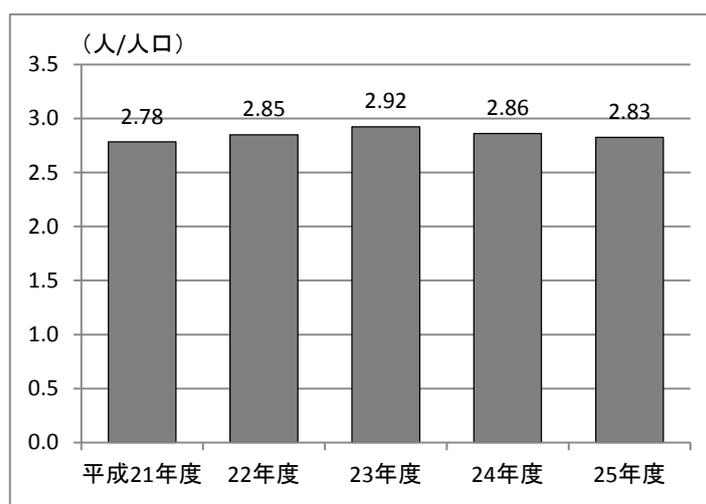
- ・表-4 は吉野町の人口とスマイルバスの利用者数の関係を示したものであり、人口1人当たりの利用者数を図化したものが図-3である。
- ・スマイルバスの利用者数は、平成21年度～23年度にかけてほぼ横ばい（または微減）、平成24・25年度にかけて年間約1,000人ずつ減少している。
- ・この間、吉野町の人口は9,367人から8,466人に901人（9.3%）減少している。
- ・これを人口1人当たりのスマイルバス利用者数として比較してみると、平成21年度から23年度にかけて、人口1人当たりの利用者数は増加している。
- ・平成24～25年度にかけ、人口とスマイルバスの利用者がともに減少したが、人口1人当たりの利用者数は少し減少することとなった。
- ・ただし、平成25年度の人口1人当たりの利用者数は平成21年度を上回っており、スマイルバスの利用者数は著しい減少傾向にあるとは考えられない。

表-4 吉野町の人口とスマイルバス利用者数（平成21～25年度）

(単位:人)

項目	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
人口(住民基本台帳・10月)	9,367	9,098	8,866	8,715	8,466
スマイルバス年間利用者数	26,069	25,934	25,927	24,929	23,922
人口1人当たり利用者数	2.78	2.85	2.92	2.86	2.83

図-3 人口1人当たりスマイルバス利用者数（平成21～25年度）



(2) 隣接自治体のコミュニティバスとの接続効果

- ・平成 24 年 10 月から東に隣接する東吉野村でコミュニティバスの運行が始まった。その際、東吉野村内から吉野病院方面へのアクセスを確保するため、新子バス停にてスマイルバス B コースと東吉野村コミュニティバスが接続するダイヤ設定を行った。
- ・表-5 は、その効果を把握するため、東吉野村コミュニティバスとの接続前（前年度＝平成 23 年度）と接続後（翌年度＝平成 25 年度）の新子バス停の乗降人数の変化を示したものである。
- ・比較のため、新子バス停の前後のバス停の乗降人数も合わせて示している。
- ・東吉野村コミュニティバスとの接続前後において、新子バス停の吉野病院方面行乗車人数は 154 人増（1.59 倍）、吉野病院方面からの降車人数は 108 人増（1.42 倍）となった。
- ・これは隣接するバス停の乗降人数の増分・増加率のいずれと比べても高い値となっており、接続によりスマイルバスの利用増につながったことがわかる。
- ・新子バス停の乗降人数の増分は 250 人余りであるが、これは年間のスマイルバスの利用者数の約 1% に過ぎないが、利用者減少数（1,007 人）の 4 分の 1 に相当するものであり、この効果は決して小さくないと考えられる。
- ・吉野町は吉野郡の中心であり、隣接する町村との広域的な公共交通ネットワークを築くことの重要性が示唆される。

表-5 Bコース・新子バス停および前後のバス停の乗車人数（年間）

バス停	往路:吉野病院方面へ				復路:吉野病院方面から			
	乗車人数		増減		南国栖行・降車人数		増減	
	平成23年	平成25年	人数	割合	平成23年	平成25年	人数	割合
国栖	1,176	789	▲ 387	0.67	835	486	▲ 349	0.58
新子	261	415	154	1.59	259	367	108	1.42
新子局前	121	181	60	1.50	84	102	18	1.21